

女性の暮らしを直撃 会計年度任用職員の期末手当引き下げ 議案に反対

コロナ対策で大きな役割を果たしている区職員の期末手当を引き下げる3つの議案に反対しました。とりわけ影響の大きい会計年度職員（非正規職員）の引き下げ議案については反対討論を行いました。会計年度任用職員の数は2700人と区職員全体の4割に迫

り、うち86%は女性です。しかも年収は200万円程度と賃金が低く、官製ワーキングプアと呼べるような状況です。いま必要なのは会計年度任用職員の処遇改善であり、ワーキングプアを広げる期末手当の引き下げは許せません。



3回目ワクチンや特別給付金などの 補正予算に賛成

区は、今年度4回目となる補正予算案を編成しました。その内容は、3回目のワクチン接種や子育て世帯へ等の臨時特別給付金、酸素ステーション継続のため予算です。コロナ対策では、感染リスクの高い公共施設などで社会的なPCR検査を増やすことなど、国や東京都待ちにならず、場合によっては区独自で対策を打つべきだと訴えました。また18歳以下に一人

あたり10万円相当が支払われる給付金のうち5万円分はクーポンで対応することについては、国全体で900億円も経費が上乗せされることから、全額現金にすべきだと追及。子どものいない非正規労働者や生活困窮にあえぐ女性や学生など、すべての必要な方へ別途支援を講ずるよう迫りました。補正予算案には共産党区議団も含め、全会一致で承認されました。



小松あゆみ
文教児童青少年委員会
医療・病院整備等特別委員会
個人情報開示および
個人情報保護運営審議会
順天堂大学医学部附属
練馬病院運営連絡協議会



のむら しろ
保健福祉委員会
総合・災害対策等特別委員会
緑化委員会



有馬 豊
副幹事長 都市整備委員会
議会運営委員会
都市農業・
みどり環境等特別委員会
財産価格審議会
土地開発公社評議員会



島田 拓
幹事長 企画総務委員会
議会運営委員会
交通対策等特別委員会
消防団運営委員会



坂尻まさゆき
団長 区民生活委員会
医療・病院整備等特別委員会
国民健康保険運営協議会
土地開発公社評議員会

暮らしに 希望を HOPE



2022年1月号

日本共産党練馬区議団NEWS



練馬区議会本会議場

みなさん、こんにちは。日本共産党練馬区議団です。

第4回定例会が、11月26日～12月10日まで15日間行われました。今議会では41件の議案が提案され、長期的な運営が必要で民間の管理にはなじまない図書館の管理委託議案や、区の責任を後退させる区立の障がい者施設の民営化議案、区職員の給与を引き下げる議案など11議案に反対しました。

また区内のヒマラヤ杉の並木の保全を求める要請書とデフリンピックについての意見書が全会一致で採択されました。

一般質問で暮らしを支え、ジェンダー平等の区政を求める

一般質問は、コロナ禍で苦難に直面している区民の願いに応える立場から6つのテーマで行いました。坂尻まさゆき区議が登場しました。

この間、非正規雇用者など、多くの方が収入減で生活苦におちいり、家賃も払えない事態になっています。非正規雇用は女性が多く、ジェンダー不平等も明らかになりました。性暴力も増加しており、人権教育も含め、子どもたちに踏み込んだ性教育を行うことも求められています。こうした観点で区に対策の強化を求めました。

区立保育園の委託民営化の問題では、区長が若いころ滞在した英国の保育の質を守る制度を紹介し、区の取り組みを求めたところ、区長は「何事においても欧米に遅れているという明治時代に刷り込まれたような発想は改めるべき」などと、中身を理解しない答弁をしました。これで区民の声をきちんと聞くことができるのでしょうか。



坂尻まさゆき区議が一般質問

こんなことを質問しました

来年度予算編成について

- ・過度に財政危機を煽ることはやめること
- ・いきいき健康券や高齢者紙おむつ支給事業などの復活

住まいへの支援

- ・公営住宅の増設と民間住宅を借り上げで住まいを安く提供を
- ・セーフティネット専用住宅の増設と家賃補助の実施

女性の働き方の改善

- ・区職員の長時間労働の是正と男性の育休取得率の改善
- ・会計年度任用職員の正規雇用化

性教育

- ・多様性を学ぶ「包括的性教育」の導入
- ・小中学校で配布している生理用品の「返却」の撤回
- ・女子トイレ個室にも生理用品の配布を。

保育園の委託民営化ストップ

- ・世田谷区の「保育の質ガイドライン」を練馬でも
- ・区立谷原保育園の閉園方針の撤回を

地球温暖化対策

- ・家庭や企業など分野ごとの目標と温暖化対策推進計画の策定を。
- ・建築物の断熱の促進と区営住宅でも再エネ・省エネ設備の強化を。
- ・みどりバスをディーゼルから電気バス等へ転換を。

小中学校における生理用品の「要返却」を撤回させる

練馬区には98の区立小・中学校がありますが、女子生徒が保健室で生理用品を受け取っても、その後「返却」を求めている学校が12校あることがわかりました。生理の貧困やプロダクティブ・ヘルスの観

点から「返却できる子だけに生理用品を渡す」ことは適切でないとして一般質問で撤回を要求しました。その結果、教育委員会から「返却不要とする」との答弁を勝ち取りました。

公共施設の統廃合や民営化進める計画素案 区民の立場で改善を求めます

区は、来年度以降の方針を示したいくつかの計画素案を発表しました。これを見ると区民の立場から考えて、いくつか問題があります。しっかり分析を行い、予算議会等で改善を求めていきます。

問題点①

区立直営谷原保育園を閉園!? 子どもや保護者、職員、議会をないがしろにする計画は撤回を

区は、築55年と老朽化した区立谷原保育園に代わり、近隣に私立認可園を誘致することを理由に、2026年度に閉園する計画を打ち出しました。在園児は卒園まで居られるといいますが、2023年度から段階的に募集を停止するため在園児は年々減っていきます。これまで区は老朽化した園舎は建替えをしてきました。区民の財産を勝手に閉園とする乱暴な計画は撤回し、区立園の改修や建替えで存続すべきです。

問題点③

美術館再整備のためサンライフ練馬が廃止にまだ使える施設を壊していいの?



区が検討している新しい美術館のイメージ

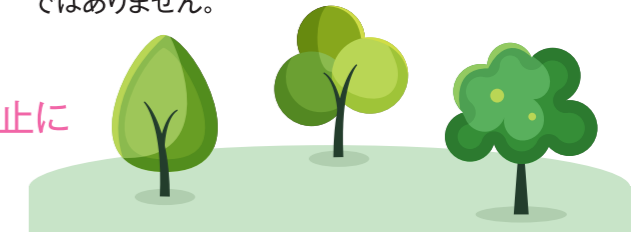
区立美術館の機能強化のため、隣接するサンライフ練馬を廃止し、美術館の敷地とあわせて全面改築する方針が明らかになりました。区は、サンライフ練馬の廃止は区民ニーズや利用状況を考慮したもので、トレーニング室など必要なものは代替を設けるとしています。しかし、サンライフ練馬の利用者数はコロナ前まで年々増加し、昨年度は約73,000人でした。

区は長寿命化に適する公共施設は80年利用する方針です。サンライフ練馬は築40年で、2012年には5億円を超える税金を投入して大規模改修を行いました。長寿命化方針にも反する廃止計画は見直すべきです。

問題点②

稲荷山公園や井頭公園の整備計画は拙速に進めるな

区は、65年前に決定した大泉町の稲荷山や南大泉の井頭など大規模公園をつくる計画を推進しています。みどりや公園を増やすことは大事なことです。稲荷山は約400世帯、井頭は約200世帯の立ち退きかが迫られます。特に稲荷山公園は、計画自体知らない住民もいる中、来年度に実施計画策定、2023年に事業・測量説明会など拙速に進めようとしています。多くの区民に影響する計画は拙速に進めるべきではありません。



区の計画(素案)に意見を寄せてください

いずれの計画も今年度中(2022年3月中)に策定される予定です。みなさんの意見を区にお寄せください。

(〆切は1月17日です。)

	計画(素案)の名称
1	第2次みどりの風吹くまちビジョン「改定アクションプラン」 「年度別取組計画」
2	公共施設等総合管理計画(実施計画)
3	教育振興基本計画の改定
4	練馬区立美術館再整備基本構想
5	第3次練馬区自転車利用総合計画

全文は、区ホームページ、区民情報ひろば、区民事務所、図書館などで閲覧可。1と2はYouTube練馬区公式チャンネルで概要パネル閲覧可。

意見の提出方法は、持参、郵送、ファックス、電子メール、東京共同電子申請・届出サービスでお寄せください。